

【資 料】

マイクレドシート

実施要項

申込用紙

ポスター

第8回コクダイパン会議 マイクレドシート

ここでは、参加者の皆さんから提出いただいた「マイクレドシート」をご紹介します。
※皆さんにご記入頂いた「マイクレドシート」から転記しました。一部不明瞭で読み取れなかった箇所や図表の箇所等は掲載出来ませんでした。ご了承願います。

●私のなりたい大学職員像

周囲に頼り、頼られる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・オープンマインドで接する。（心を開かない人を他人は信用しない）
- ・自分の気持ちと周囲の現状、2点を常に意識する。
- ・どんなことでも楽しむ。（楽しくないと思っただけだと周囲も楽しくなくなる）
- ・大学（職場）だけを居場所にしない。

●私のなりたい大学職員像

- ・専門知識を持つ職員
- ・笑顔で対応できる職員
- ・人に頼られる職員
- ・努力を怠らない職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・困っている人（教職員・学生）がいたら、自分から話しかける
- ・毎日情報収集する（大学のプレスリリース、新聞記事、ブログ、twitter）
- ・仕事の根本（大学とは何か、自分の指針）を意識して担当業務を行う
- ・本を読む

●私のなりたい大学職員像

- ・自分への自信と誇りをもって仕事に取り組む
- ・楽しそうに仕事をしていると思われる
- ・経験と知識を持って正確な仕事をする
- ・常に周りを意識し、気づき、機転が利き、信頼されるようになる
- ・仕事への準備を怠らず、言いたいことを言う

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・人の嫌がることを率先して行う人間
- ・思いやりのある人間
- ・探求心を持った人間
- ・柔軟な姿勢を持った人間
- ・色々な目を持った人間
- ・自分の思いを大切にしたい人間

●私のなりたい大学職員像

常に向上心を持ち、失敗を恐れず、
仲間とともに行動を起こし、実績を作る大学職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

1. 会いに行ける大学職員になります。
2. わくわくドキドキが止まらない毎日にします。
3. 1日1ガッテン
4. アウトプット>インプット
5. 新規採用者向けのマニュアルを作ります。

●私のなりたい大学職員像

- 「やわらかいプロフェッショナル」
- ・プロ意識と情熱を持ちつつ、柔軟な考え方ができる。
 - ・得意分野を持ち、新しいことを吸収し続ける積極性。
 - ・振り返りとアウトプットができる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・学び続ける
- ・つながり続ける
- ・生みだし続ける

●私のなりたい大学職員像

大学密着型アイドル（ゆるキャラでも可）兼プロデューサー
Self Producer

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ◆アイドルとして 情熱 対外
 - ・子ども（学生）から老人（教授）に好かれる
→ファンを大切にする …… 名前や顔を覚える
 - ・大学に愛着を持つ …… 職場環境改善
 - ・どさ回りをする …… 直接、人に会いに行く

- ◆プロデューサーとして 冷静 戦略
 - ・業界に詳しくなる …… 大学や文科省のことについて知る
職場について知る
 - ・広い視野で仕事の全体像をつかむ
 - ・アイドルの動きを冷静に指示する
 - ・チームを結成する …… 周りを巻き込んで仕事をする

- ◆これらの2つをうまく使い分け、相互作用を生み出す
「自分プロデュース」

●私のなりたい大学職員像

- ・組織経営の中心になる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・プロフェッショナルとしての自覚と専門性を持つ。
- ・生涯学習（学び、成長し続ける。）

●私のなりたい大学職員像

学生視点に立てる、学生から信頼される大学職員になりたい

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

「指示」ではなく「支持」をする

誤りを指摘したり命令するだけでなく、相手の立場に立ち相手に共感することが大切である。

コミュニケーション能力が大切であるとよく言われるが、まず大切なのは伝えることではなく、相手の話を聞く（聴く）ことである。

学生トラブルに共通の答えはない。個別個別の対応が大切である。

かかる労力を拒否しない。

●私のなりたい大学職員像

- ・余裕があり安心感を与えられる、信頼されている
- ・やりたいことをやっている
- ・周りをよく見ていて、情報収集を怠らない
- ・これからの世代の人たちのために頑張っている

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・教育に関わる者として、親として、これからの世代を育成するという使命を持つ
- ・やらなければいけないことはきちんとやり、やりたいことをやる
- ・誰からの話もちちゃんと聞き、誰かに相談することをためらわない
- ・自分の考えをしっかりと持ち、論理的に説明できるよう、情報収集、勉強を続ける
これは私のやりたいことの一つである

●私のなりたい大学職員像

- ・自分の業務を十分把握しつつ、他の人にも目が向けられる職員
- ・人に興味を持ち、行動できる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・常に自分の業務量や内容を掴み、優先順位などを意識する。
- ・自分のキャパ（容量）に余裕を持たせることで、他の職員の現状にも意識を向けられるようにする。
- ・人とコミュニケーションをとり、「仲間」を増やす。
- ・心身ともにゆとりがある、フットワークの軽い人になる。

●私のなりたい大学職員像

惜しみなく仲間に協力を求めることができる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

「組織」を意識した行動が前提

1. 惜しみなく仲間に協力します。
2. 1人よがりにならないよう心がけます。
3. 目的・危機意識・戦略を共有します。（協力を求める際）
4. 予定が共有できる体制をつくります。

●私のなりたい大学職員像

- ①学生のために、様々な企画や提案を打ち出せるようになる。
- ②学生のために、勉強をし続け、その成果を伝えられるようにし、笑顔でいられる余裕をもてるようにする。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・常に勉強。目標を意識して勉学を行う。
- ・笑顔で良い空気を作る。
- ・相手の立場にたって伝えたり、聞いたりする。
- ・気づきのアンテナを張る。

●私のなりたい大学職員像

大学のステークホルダーのために、ひいては日本社会や世界のために、何かを改善（変えていける）職員。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・人脈 …… いざ行動に移す時に、尋ねやすかったり、協力を得られやすいように。
→普段からあいさつ。笑顔。飲み会の場に極力参加。
ありたい自分と、人から見られている自分はたぶん異なる。一致させるように。
- ・情報収集力
→人脈から得られる。人の話がヒントになる。ステークホルダーの要望に敏感になる。（気づける） 教養力を高める。好奇心をもっと持つ。
- ・単純さ。素直さ。思ったらすぐ行動。

●私のなりたい大学職・員像

- ・好奇心と向上心を常に持ち、“知らないこと” “分からないこと” を恐れず一生勉強していく人。
- ・“電話の向こう” “メールの向こう” “今日の前にいる人”、後輩や上司……相手の立場で考えられる人。
- ・相手への気遣い、周りへの感謝、そしてそれを表に出すコミュニケーション能力の高い人。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

私は……

- 常に疑問を持つことを忘れず、かつ、その疑問の答えを追求します。そして分かりそうになかったら、積極的に聞きにいきます！
- 依頼されたことは、何か作業の途中であっても3分だけ、そのことについて集中して考え、優先準備を決めます。そしてすぐにリアクションします。
- 学生に負けないぞ！という意気込みで勉強し続けます。
- “おはよう” “ありがとう” “よろしくお願いします” ……
どんなに忙しくても、笑顔で相手の目を見て挨拶します。
- 自分1人だと思わない。相手と周りを意識します。

●私のなりたい大学職員像

「汗をかける職員」

- リーダーではないが、チームの戦略を最大化するために、努力を厭わない。
- 冷静に状況を判断し、必要な時に必要な情報を提供できるようアンテナを張る
 - 周囲の状況に気を配り、相手の目線を忘れないようにする

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- “情報を集める” 努力を怠らない
- “常に「どうして？」を考える” 努力を怠らない
- “調整する” 努力を怠らない

●私のなりたい大学職員像

- 思考はゼネラリストで行動はスペシャリスト。
ひっくるめてプロフェッショナルであること。
- 大学について外へアピールできる人。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 大学全体の方向性や組織概要等を説明できる程度のデータを自分の中で更新し続ける。
- 漫然と仕事をしていくだけで終わらないよう、周囲の動きに関心を持つ。
- 職場では笑顔。
- 年に1つはテーマを決めて勉強する。頭は使わないと固まるだけ。
- 研修には積極的に参加する。
- 専門用語だらけの説明はしない。

●私のなりたい大学職員像

- 広い人脈を持ち、学内はもちろん業界全体についての知識を持つ。
- 向上心があり、変化を恐れない。
- プレイヤーとして熱中しすぎることなく、時には、一歩引いた立場で全体を見渡して考える。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 手間や時間を惜しまず、積極的に足を運び、人とのつながりを大切にする。
- 業務の効率化を図り、根回しや新しいアイデアについて考える時間を作る。
- 組織内での自分の立場・役割を把握する。

●私のなりたい大学職員像

- チームの“ワ”になる職員。

4つの“ワ”

- ① 輪：車輪のようにチームを動かす、走らせる
- ② 和：雰囲気などの調和
- ③ 話：積極的なコミュニケーション
- ④ 環：チームをひとつにまとめる

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 自分と仕事をしたいな、と思ってもらう。
- 積極的に企画案を出していく。
- 人見知りを克服する。
- 教わったことは、誰かに教えられるくらいまで理解する。
- 自分と向き合う。

●私のなりたい大学職員像

学生をはじめ、大学全体のためを思い行動し、できる限り常に冷静沈着で心にゆとりを持ち、周囲への気配りもさりげなくでき、自分の仕事もある程度完璧にこなせる人。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ①（心にゆとりを持って学生や先生方、等々に接するため）山を見る。
- ②たまには仕方ないとあきらめる。
- ③でもやっぱり猪突猛進。

●私のなりたい大学職員像

みんなを幸せにする大学人になります。

みんな：人類にとどまらないあらゆるもの、目の前の人もちろん、未来へ向けても
幸せにする：全体最適を求めていくことを諦めない

大学人：大学をつくっていくのは自分たちであるという誇りと自覚をもって

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

【頭】いつも笑顔を忘れません。

【心】熱い心と冷静な頭をもって日々に臨みます。

【手】輪（ネットワーク、サイクル）を回し続けてゆけるよう努めます。

【足】足取り軽く、自ら“現場”へ行くことを惜しみません。

【ALL】知への探求心を絶えず持ち、わくわくしています。

それはみんなと一緒にしか実現できないから。

●私のなりたい大学職員像

- ・個人ではなく周囲を巻き込める職員
- ・夢を持ち続け、夢を与えられる職員
- ・「困ったことがあったら4番窓口！」と言ってもらえる職員
→学生からの信頼、教員からの信頼、広い視野と豊富な知識
- ・世界を見据え、地元を愛す by山形大 小松さん
- ・カウンセリングマインドをもった職員（受容と共感、“聞く”から“聴く”へ）

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

“事務職員”ではなく“教育者”である！

●私のなりたい大学職員像

ナンバー1を超えるナンバー2

- ・リーダーシップとフォロワーシップを兼ね備えた大学職員
- ・広い視野を持ち、大学全体、大学を超えた活動ができる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・日々、粘り強く、自己の研鑽に努める。
具体的には、語学力（言語能力）、企画力、人的ネットワーク、情報収集、専門性など
- ・広い視野を持ち、目先のことにとらわれない。
- ・笑顔を忘れず、謙虚な姿勢でいる。
- ・自分のためだけでなく、他人の利益にもなる行動を心がける。

●私のなりたい大学職員像

- ・日々の仕事の中で学生・教員・職員との信頼を築いていける。
- ・自分の仕事に責任を持ちながら、何事も真摯に精一杯取り組む。
- ・学生・職員・教員から頼られ、頼ることができる。
- ・大学とともに“生きる”ことができる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

【人との接し方】

- ・普段の行動（あいさつ、対応、仕事、生活 etc）の積み重ねから信頼関係を構築する。

【意欲、信念、モチベーション】

- ・責任感を持つ。
- ・壁や限界を作らない。
- ・何事も真摯に取り組み、一生懸命にやる。

【行動】

- ・フットワークを軽く、親切丁寧にする。
- ・気づく、気がつく、気を配れる。

【時間の使い方、優先順位】

- ・仕事を見極める力をつける。

【スキル、テクニック】

- ・知識がある。仕事ができる。
- ・人間性を磨く。

●私のなりたい大学職員像

- ①話のわかる人として、橋渡しのできる職員
- ②最短距離で問題解決に向かう人として、時間を稼げる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ①・応用力、適応力、柔軟性を大切にする
→基礎を身につける（広く浅く）
 - ・相手の意図を十分理解するよう努める
→情報を引き出す力、話しやすい雰囲気、的確な質問
- ②・問題解決への手順（戦略）を念頭におく
→問題の真因へ向かい、飛び・漏れなく論理立てて分析する
 - ・随時振り返りを行い、戦略を改善していく

●私のなりたい大学職員像

あいつに聞けば何でもわかる！
会計のスペシャリストとして予算等の知識を深めあいつに聞けばわかると言われたい。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・規定を理解する
- ・マニュアルを作る
- 教員等の理解を得ていく
- 説明責任を最重要視

●私のなりたい大学職員像

日本、そして世界の高等教育に貢献できる大学職員

大学への愛、仕事への誇りを持って研鑽に励むとともに、そうして得られた自身の知識・経験を他者に伝え、共有することで周囲とも研鑽しあうことのできる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

他人から信頼されるよう、依頼などには真摯に、迅速に対応します。
高等教育の制度・理論を学び、業務に活用できるようにします。
日々の業務の中でも互いに研鑽しあうことを目指します。

●私のなりたい大学職員像

信頼できる大学職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

相手の話を真摯な態度で聞き、聞くだけではなく、自分からも話をするという情報収集、情報共有に力を入れる。

●私のなりたい大学職員像

大学職員として自身の勤め先である大学への愛はきっと誰もが持っていると思う。それを表面化しなければ自他ともに影響を与えることも少なくなると思い、行動することがまず大事と思う。行動には2つあり、ハード面とソフト面で考えてみる。ハード面では笑顔であること、身だしなみがしっかりしていること、あいさつをすること、体が健康であることであり、ソフト面では一つのことについて一つだけでなく幾通りの考えを持つこと、ツールに頼らず行動し対話すること、人にやり方をきくことと考え、これらが日々積み重なることで大学のためひいては他大学のためにもなると思います。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

5つ、すぐにできること

- ・笑顔であること
笑顔であればどんないやなこと不利なことでも難しくなくなると思う。
- ・二言あいさつをすること
- ・人と会って会話すること
同じ建物内では会話で済むことは電話・メールをしない。
- ・二つ以上を考えること
多方から見る考えを持つことで意見の違いを理解しやすくなる。
- ・情報を得ること
本を読むこと、HP・ポータルサイトをチェック。

●私のなりたい大学職員像

- ・自分についてよく知っている。→自分の得手、不得手について理解する。
- ・心に余裕を持つ。→余裕をもつことで、少しの「キッカケ」を生かして次のステップに成長できる気がする。
- ・相手をほめることができる。→「心の余裕」「相手への気遣い」「理解」がないとほめることはできない。否定から入るのではなく、まずは良いところを見つける！肯定から入りたい。ポジティブシンキング。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・心に余裕をもつ。
 - ①自分だけで抱え込まない→情報の共有を図る。
 - ②目線を変えてみる→視座をいくつも持つ
 - ③自分自身を知る（限界、方法、etc・・・）
- ・相手をほめる
相手の意見を尊重し、よく理解するように努める。否定から入る（出来ない理由を探すのではなく、出来る方法を考える）のではなく、肯定してから次のステップへ。

- アウトプットを意識する。

自分の個人だけの成長では大学の成長とは言えない。自分の成長→チームの成長→大学の成長となるように、いかにアウトプットができるかを意識する。行動に移すのは組織の壁などがあり難しい部分もあるが、「意識」を持つだけで「キッカケ」「チャンス」を掴むことができると思う。

●私のなりたい大学職員像

「一緒に仕事をしたい」と思われる職員になる。

(相手に安心感を与えられる・信頼される職員、向上心のある職員)

理由：チームで仕事をするのが好き。特に相手に認められることに喜びを感じる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

1. 相手に安心感を与えられる職員になるために。

マイクレド：

- 責任感を持ち仕事に取組み、やり遂げる＋実績をつむ
- 相手の視野でモノを考え、丁寧な対応を
- 論理的に説明する（→説得力がでる）

2. 向上心のある職員になるために

マイクレド：

- 今の自分に満足しない
- 足りないものを認識する。
(本当はビジョンを意識する、ビジョンを持つ。)

●私のなりたい大学職員像

「個」を強化し、「チーム」を意識している職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 基本的には笑顔でいることを心がけて行動します。
…同僚が私に相談などしたくても、「話しかけにくいな…」と思われたいよう、常に笑顔でいることを心がけたいと思います。それがチーム力の強化につながると思います。
- チーム力の強化につながる個人的なネットワークの形成を心がけます。
…私に出来ることといえば、まずは組織内外でネットワークを大きくすること。その目的を「チーム力の強化」につながるという軸を忘れずに、必要なネットワークを作っていきたいです。
- 今ある環境を責めません。
…モノ、メンバー含め「ないものねだり」をせずに「あるものいかし」を心がけます。

●私のなりたい大学職員像

“大学のため”ということ、論理的に考え、自分の基盤としている職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

客観的な事実や、現場で起こっている問題をもとに、論理的に突き詰めて考え、表出する。

●私のなりたい大学職員像

- ・学生に対して紳士に対応できる職員
- ・教員に対してYes マンではなく違うことは違うと言える職員
- ・後輩、上司に対して慕われる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・後輩に対して思いやりを持つ
- ・後輩たちが困ったときに話を聞いてあげられるようにする
- ・困ったときに話されるよう日頃から笑顔で対応する

●私のなりたい大学職員像

バランス感覚に優れていて、信頼される+信頼できる大学職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

信頼されるために

- ・笑顔+話しかけやすい雰囲気づくりをする

信頼するために

- ・周りの人をよく観察する

バランス感覚を身につけるために

- ・論理的に物事を捉えていく、知識を身につけるよう努めていく

●私のなりたい大学職員像

- ・信頼され、安心感を与えられる職員
- ・行動力のある職員
- ・決断できるビジョナリーな職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

（より多くの人に）東大を好きになってもらいたい

（そのために東大の一構成員である私は）

- ・信頼され、安心感を与えられる職員
- ・行動力のある職員
- ・決断できるビジョナリーな職員を目指します

（そうなるために）

- ・対応を一つ一つ丁寧に行います
- ・恐れずに動きます
- ・細やかなコミュニケーションを大切にします

●私のなりたい大学職員像

1. マネジメント力のある職員（管理職になったら）
2. 有言実行！言葉に出したからにはやる
3. 「何のための仕事か」理解して日々仕事ができる
4. マイデスクもPCのデスクトップも整理整頓ができています
5. 相手の立場に立って話ができる、聞ける

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

1. 管理職になる前の今のうちから基礎知識を身につけます。
具体的には読書をする。周りの管理職を観察し、良い面、悪い面をメモする。
2. 悩む時間を行動する時間にあてます。
3. 少なくとも自分の業務に直接関わる法律・規程は読み込んで理解に努めます。
4. 片づけ術を学びます。
5. 必ず、まず最初に相手をよく知るところから始めます。
コミュニケーション不足のまま仕事の話だけ先にするのはやめます。

●私のなりたい大学職員像

相手のことを考えらえる、周囲に気を配れる非完璧主義な職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・人との会話、対話を惜しまない、めんどくさがらない。
- ・相手の立場、状況をしっかりと見極めた上でのコミュニケーション。
- ・ふとした時に顔を上げ、周りを見してみる。
- ・完璧を求めすぎない。仕事も行動も思考も余白を残す。
- ・悪いところを見つける前に良いところを探す。

●私のなりたい大学職員像

自己犠牲ではなく、
ステークホルダーを意識したうえで
物事に取り組むことができる
組織と共に成長できる
大学職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・大学の代表者という意識を常に持つ
⇒表面的な評価や行動は外部の人にとっては大学の評価に直結するため
- ・自分の仕事に対して責任を持ち反省する
⇒完璧な仕事はない。常に改善を意識し、検証を行う。責任ある仕事をするため、
情報収集・調整をしっかりと行う。
- ・仕事は個人ではなく組織に存在する。
⇒組織に与えられた仕事をこなすため、個人としてどのように取り組むのか、担当が
変わっても業務の質を維持するには、どうすればよいか常に模索する。

●私のなりたい大学職員像

信頼できる情熱お兄さん

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・誰にでも意見を言うことができ、誰からでも意見を言われる大学職員を目指す。（有意義な意見交換の根底には信頼関係がある。）
→達成するためには
 - ・オープンマインド（自分の話をし、人の話を聞く）
 - ・知識（相手が求めていること）の獲得
 - ・何事に疑問を持ち、解決のために情熱を注ぐ
 - ・メンターと成り得る責任意識を持つ
- ⇒これらを実行することで「信頼」を得ることができるはず！！

●私のなりたい大学職員像

- ①そもそもどう考えるのか、どうしたいのかという「あり方」を明確に持っている職員
- ②素早く行動できる職員
- ③ものごとを前向きに、ポジティブに考える職員
- ④経験を積極的にアウトプットできる職員
- ⑤人とのつながり（ネットワーク、コミュニケーション）を大切にする職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ①、③ 自学を継続する
- ② 仕事を自分自身で止めない
- ④ 準備を十分に行う
- ⑤ アンテナを張り、何事にも興味を持つ

●私のなりたい大学職員像

自分の大学（方針、研究、教育…）について、興味を持って知り、ここが特に好き！と言える職員。学生・先生にとって、この人になら頼めると安心感のある職員（名前でもらえるのがBest!）

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

知り語りになる（めんどうだと思わず積極的に！）
チャンスを得るための準備は怠らない。
顔と顔をつけ合わせて話しましょう。
笑顔忘れてはいけません。
余裕は最大の武器なり。（ON/OFFのメリハリ）

●私のなりたい大学職員像

好奇心が高く、野望を持ち、所属大学の代表になれるような、日々行動をしていく職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・アンテナを広く
- ・基本前向きに
- ・すぐ調べ
- ・余裕を持って
- ・貪欲に生きる

●私のなりたい大学職員像

専門性を有しながらも、多様な知識・教養・経験を持ち、積極的に動くことができる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

何事にも一生懸命トライすること
新しいことにチャレンジすること
日常の仕事にも目標を持って臨むこと
自分の置かれた立場や環境、求められていることを整理できること
目標達成のために何が必要で何をすべきか整理できること
フットワーク軽く、そして、人のつながりを築くことができること

●私のなりたい大学職員像

自分の「あり方」を持つ

- ぶれない「体幹」と柔軟な「思考」を持つ
- 理論より行動（行動には態度が必要）

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 物事を複数の視点でとらえ、考える
- 重要なのは「コミュニケーション（思いやり）」と「業務のマニュアル化」
- 普段の業務をこなす中で、余裕や余力をもつことで、フットワークの軽さや良好な対人関係の形成に活かせる
- こまめのメモを取る習慣をつけ、情報や書類をきちんと整理する

●私のなりたい大学職員像

体と心の軽い職員
すぐに行動できる、決められる、感動できる職員になりたい。
ポジティブに考え、明るく笑顔で仕事をする職員でありたい。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- 周りを見る、時間的・心理的な余裕を持つ
- 趣味にも本気を出す
- 笑顔でいる
- 自分の信念を持ち、基づいた行動をする（そして大きくゆらぐ）
- どんなことでもまずやってみる
- 人とのつながりを大切にして、その中で成長するための努力を惜しまない
- 学び続けようとする姿勢を持つ
- たまに休む

●私のなりたい大学職員像

「大人の余裕を醸す大学職員のプロ」

要素：

1. 提示に帰り、毎日バケーションに行く。余裕。
2. 学外・学内の情報に精通した、物知り。
3. 人たらし（男女問わずたらし）

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ①誘われたら顔をだし、情報を集める。（でも意味のない集まりには行かない。）
- ②係全員が定時帰り出来るよう、仕事の本質を見極める。
- ③①、②を備え、オシャレでオリジナルな大人の余裕を醸し出す努力。

●私のなりたい大学職員像

常に余裕を持って行動し、周りのサポートができる職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・嫌な仕事を後回しにしない。まず、やってみること！
- ・好奇心を持って仕事に臨み、その仕事の存在理由を確かめる。（ex 規程を読む等）
- ・仕事をする相手を具体的にイメージする。

●私のなりたい大学職員像

肯定的・建設的に考え、仕事に情熱・自身を持ち、新しいことにチャレンジする職員になる。

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・肯定的・建設的に考える
 - 相手の考え・意見を否定しない
 - 相手の考えを受け入れ、そのうえで話し合う
 - より良いモノを作っていくため、情報や意識の共有をし、組織で働く
- ・仕事に情熱・自身を持つ
 - 知識を増やす
 - 経験を積む
 - 資格を取得する
 - 基本パターンにとらわれない
- ・大学に愛着心を持つ

●私のなりたい大学職員像

プライベートも大切にしつつ、向上心があり、行動力・説得力のある職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・ 休日は働かない
- ・ 効率の良い仕事のやり方を考える
- ・ 何とかなると信じる
- ・ 来るべきチャンスに備え、日頃から心の準備をしておく
- ・ 自分で調べる

●私のなりたい大学職員像

組織から信頼される職員

●なりたい大学職員像に近づくための私の行動指針（マイクレド）

- ・ 自分は何のために、誰のために仕事をしているのかを常に考えるようにする。
- ・ 相手と衝突する場合は、まず相手の意見を聞き、なぜそう思うのかを考え、自分の意見を述べる。
- ・ 自分の仕事にとらわれず、常に周囲に気を配り、互いに助け合いながら、個人としてよりは組織の一員として業務をこなすことを心がける。

●私のなりたい大学職員像

信頼される職員（確実な業務遂行と、周囲との調和）